

固定資産税の納入者
79.4%は町外住民

9月11日、軽井沢町議会予算決算常任委員会において、議員の「軽井沢町に住民票を持たない人（主に別荘所有者）が払っている固定資産税はいくらか」という質問に対し、税務課の萩原係長は「固定資産税納税者のうち、軽井沢に住民票のない人が全体の79.4%」と答えた。別荘所有者はこのほか建物がある場合、年5500円の家屋敷税が徴収される。内訳は町が3500円、県が2000円（500円が森林税）。令和元年では別荘所有者のうち1万900人に該当する。

税務課が別荘所有者の納入人数の割合を明らかにしたことは今回が初めて。これまで、町税の7割が固定資産税、そのうちの約7割が別荘所有者の固定資産税と、言われてきたが、実質それを上回っていることが明らかに

軽井沢町議会9月会議一般質問

コロナ関連の質問が相次ぐ

8月27日から9月17日まで軽井沢町議会が開かれ、一般質問が行われた。新型コロナウイルスに関する質問が多数を占め、コロナ禍での財政の見通しや、感染防止対策についての内容が目立った。また赤井議員のふるさと納税制度拡充の言及に対し、総合政策課長は、ふるさと納税の寄付者に返礼品を送る事業を来年度から始めることを明らかにした。

町長答弁緑地減少と都市化を容認

木内議員は樹木の多い別荘地エリア等で、マンション開発などに伴う大規模な伐採が進められている現状を指摘し、自然保護と開発行為の規制強化を求めた。これに対し藤巻進町長は、景観の変化はマンションより住宅が増えたことの影響が大きいとし、住民から「家を建てたのに、隣接土地が切り開かれていると、町に寄

関係者すべての陰性を確認
軽井沢病院、通常業務を再開

9月1日に入院患者2人の新型コロナウイルス感染が判明し業務を縮小していた、町立国保軽井沢病院が16日、通常業務を再開した。9月8日までに入院患者、病院職員、委託業者ら268人のPCR検査を実施し、全員の陰性を確認。さらに12日までに、陽性患者との接触者、同じ病棟に入院していた患者ら54人に、2度目のPCR検査を行い全員陰性だった。全病棟の面会禁止、来院者全員の検温は継続する。今回の感染判明を受け、来院時の問

診では、患者だけでなく同居者の健康状況、感染拡大地域との往来の有無も尋ねるように変更。インフルエンザとの同時流行に備え、「新たな感染防止対策を検討したい」（同院事務長）としている。

「エクステリア」・「造園工事」・「ガーデン設計」など様々なご要望、ご相談はアルティコへ
素敵に、快適に過ごせる生活空間をご提案いたします

10年保障の
ウッドデッキ!

玄関・アプローチの
施工

まずはお気軽にご相談ください。プランニングから施工まで誠意をもって対応させていただきます。

エクステリア・造園工事・ガーデン設計

アルティコ
Garden & Exterior Life Support
9時～18時（不定休） 佐久市佐久平駅北2-5

TEL.0267-68-3129
多彩な施工事例はホームページをご覧ください。
アルティコ 佐久市 検索

日々の生活に
ヨガをプラス

プライベート
レッスン有り

詳細は
お問合わせください

体験レッスン
3回3,000円
1回のみ1,500円
※2回目以降2,000円

体験レッスン後
チケット購入の方
10回
13,000円
※有効期限なし

W Tree House
2F YOGA Studio 東部小学校
P※駐車場有
ショースポット・コピー
セブン
エレバン

離山 南ヶ丘入口 軽井沢駅→

0267-31-6426 (9:00～17:00) ※お電話には出られない
場合ががございます。

お問合せはHPから→ ダブルツリーハウス軽井沢 検索

NEWS DIGEST

■ 試験的に1日オンライン授業 軽井沢高校

軽井沢高校は9月8日、新型コロナの感染拡大による再度の全面休校を想定し、試験的に1日の授業を全てオンラインで実施した。1年生に音楽理論を教える授業を行った教諭の川上哲治さんは、板書しながら質問を投げかけ生徒とやり取り。授業後は「思ったよりスムーズにできました。楽器演奏などの実技となると、生の音と違って聞こえて難しさもある」と課題も挙げた。政治経済の授業後、3年の中村亘汰さんは「不便かと思っていたが、いつもの授業とあまり変わらない。発言したり授業に参加する難しさは感じる」と話した。

■ 別荘需要高まり、軽井沢町の基準地価上昇

長野県は9月29日、2020年7月1日時点の基準地価を発表した。市町村別では、軽井沢町は住宅地、商業地ともに上昇した。住宅地では6つの調査地点のうち、4地点で地価が上がった。長倉住還南原は6.9%上昇し、県内で最も高い上昇率。新型コロナによるテレワークの普及などで、別荘需要の高まりが影響していると見られる。

■ 「未来の教室」事業、自分の「好き」で街づくり

効率的な知識取得と、課題発見・解決能力を育む「未来の教室」実証事業の一環で、軽井沢高校1年生が街づくりをテーマにリモート授業を受けた。講師は広告代理店博報堂で都市開発などに関わっている大家雅広さん。生徒は自分の好きなものと街づくりを掛け合わせ、どんな街にしたいか考えた。「軽井沢駅を和風建築にして、ブックカフェのようなスペースがほしい」「ボーリングやカラオケなど遊べる施設が軽井沢にほしい」などの意見があった。

■ 湯川橋、全面通行止め 2022年7月まで

町道塩沢鳥井原線にかかる湯川橋（鳥井原公民館近く）が11月4日から2022年7月下旬まで、架替工事のため全面通行止めになる。1970年の建設から50年が経過し劣化が進行。橋上でも車がすれ違えるよう幅員を5.5m（現在4.0m）に広げ、1.7mの歩道も新設する。工事費の予算総額は4億円を見込んでいる。

自然と調和する美しい家

SHINKENCHIKU 株式会社 新建築

〒389-0104 軽井沢町軽井沢東 29-5 TEL.0267-42-7777 www.shinkenchiiku.jp